



# 学校だより

平成29年 6月29日  
横浜市立茅ヶ崎東小学校  
校長 山下 浩  
都筑区茅ヶ崎東2-11-1  
943-0802・0803

## 10年後の「生きる力」

学校長 山下 浩

学校の紫陽花も色鮮やかになり、時折顔を出す太陽の強い日差しが真夏を思わせませんが、季節はまだ梅雨の真ただ中、すっきりしない蒸し暑い日々が続いています。天候のはっきりしない時期ではありますが、明日からは、4年生が愛川宿泊体験学習に、翌週には、5年生が西湖宿泊体験学習に出かけます。それぞれ学年のスローガンの下、子どもたちにとって思い出に残る安全で有意義な体験学習になるように支援していきたいと思います。



さて、東京オリンピック・パラリンピックの行われる2020年度に完全実施となる次期学習指導要領が3月に公示されました。（文部科学省のhpで見られます。）

学習指導要領とは、全国のどの地域で教育を受けても一定の水準の教育を受けられるようにするため、文部科学省が示す、各学校で編成する際の教育課程（カリキュラム）の基準をいいます。今年度周知・徹底され、平成30・31年度移行期間を経て平成32年度全面実施となります。教科書も、それに合わせて検定・採択され32年度より使用開始となります。

改訂の基本的な考え方は、

○未来社会を切り拓くための**資質・能力を一層確実に育成。**

○知識の理解の質をさらに高め、**確かな学力**を育成。

○道徳教育の充実や体験活動の重視、体育・健康に関する指導の充実により**豊かな心や健やかな体を育成。**

であり、現行の指導要領の知・徳・体にわたる「生きる力」を育む考えを継承しているといえますが、特筆されるべき点は、子どもたちが未来社会を切り拓いていくにはより知識の質を高め資質・能力を育むための「**主体的・対話的で深い学び**」＝「**アクティブ・ラーニング**」が必要であるという点です。

そして、改訂に伴い教科等の主な変更点は次のようになります。

○小学校5、6年生は教科として「**英語**」をこととなります。年間授業数が70時間となります。2020年度（平成32年度）から実施となります。

○道徳教育が「**特別の教科 道徳**」となります。年間授業数は35時間で今までと同じですが、より深化した内容となります。

○**プログラミング教育**（コンピューターでの文字入力等の習得、プログラミング的思考の育成）が各教科（算数、理科、総合的な学習の時間など）に盛り込まれようとなります。

10年後の社会は、どうなっているのでしょうか？少子高齢化が一層進行し、人工知能が今ある職業の半数を代替えしているのでしょうか？未来を拓く子どもたちの生きる力の育成のため、今後2年9か月の期間で学校はカリキュラムを準備いたします。もちろん本校の良さをいかしていく教育活動は続いていきます。

引き続きご支援・ご協力の程お願い申し上げます。